◇今後の修学旅行のあり方に関する調査まとめ＜速報版＞◇

公益財団法人日本修学旅行協会

この調査は 2025（令和 7）年度に実施された中学校・高等学校の修学旅行に関するものである。全国の国立、公立、私立の中学校 9,827 校から 3,500 校、高等学校 4,761 校から 3,300 校を抽出してアンケート調査を依頼した。回答は中学校 1,129 校（回答率 32.3%）、高等学校 1,097 校（回答率 33.2%）からいただいた。

設置者名	国立	公立	私立	合計
＜中学校＞				
全国校数	67	8,982	778	9,827
抽出校数	67	2,699	734	3,500
回答校数	17	929	183	1,129
回 答 率	25.4%	34.4%	24.9%	32.3%
＜高等学校＞				
全国校数	15	3,426	1,320	4,761
抽出校数	15	1,984	1,301	3,300
回答校数	5	697	395	1,097
回 答 率	33.3%	35.1%	30.4%	33.2%

※回答率は、抽出校に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

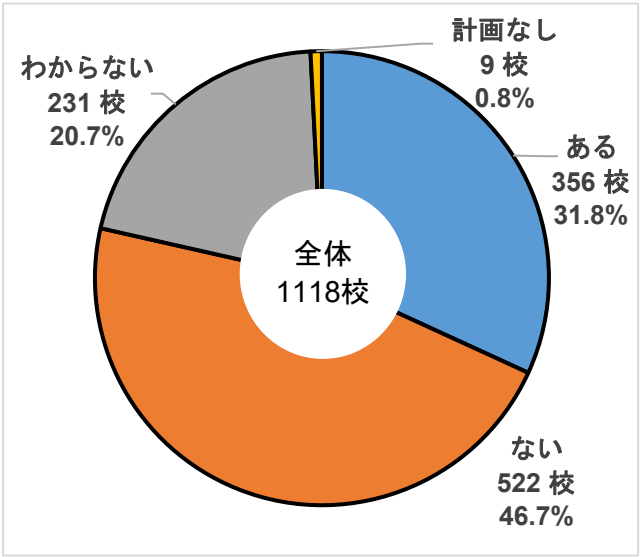
(1) 今後、自校の修学旅行のあり方や実施方法に、影響や変化はあるか
(2) その影響・変化はどのようなものか（実施方面・時期・日程、修学旅行のあり方、実施方法、体験内容）
(3) 影響・変化の理由・背景

※上記以外に毎年行っている中学校・高等学校の国内修学旅行の実態調査も行った。
その結果は、中学校、高等学校それぞれ別掲する。

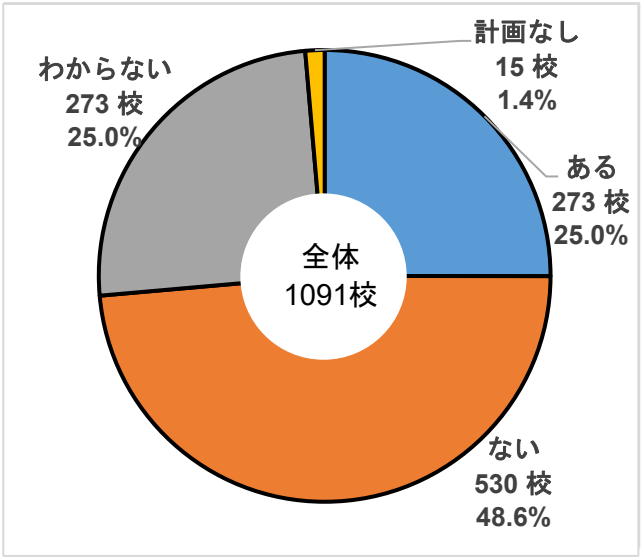
ここではその一部を抜粋して紹介する。なお他の項目および詳細については、当協会発行の**「教育旅行年報データブック 2026」（2026 年 12 月 1 日発行予定）**をご覧ください。

1 今後の修学旅行のあり方や実施方法に影響や変化はあるか

［中学校］

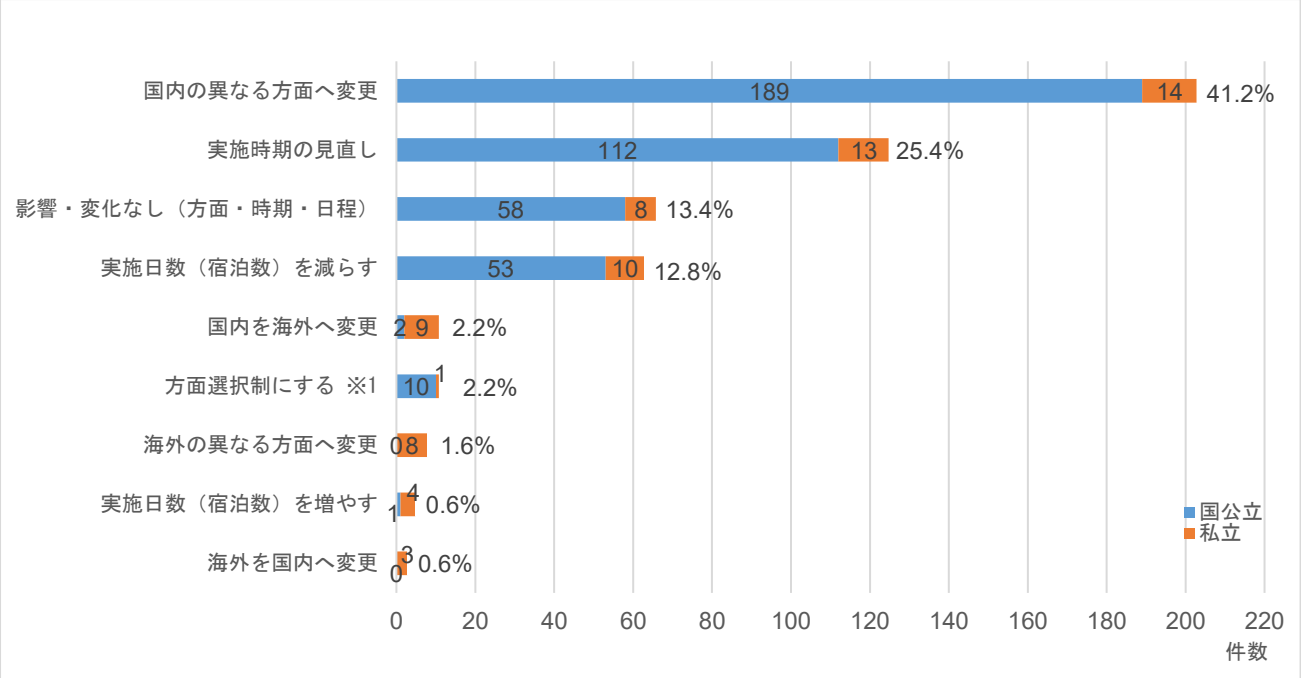


［高等学校］



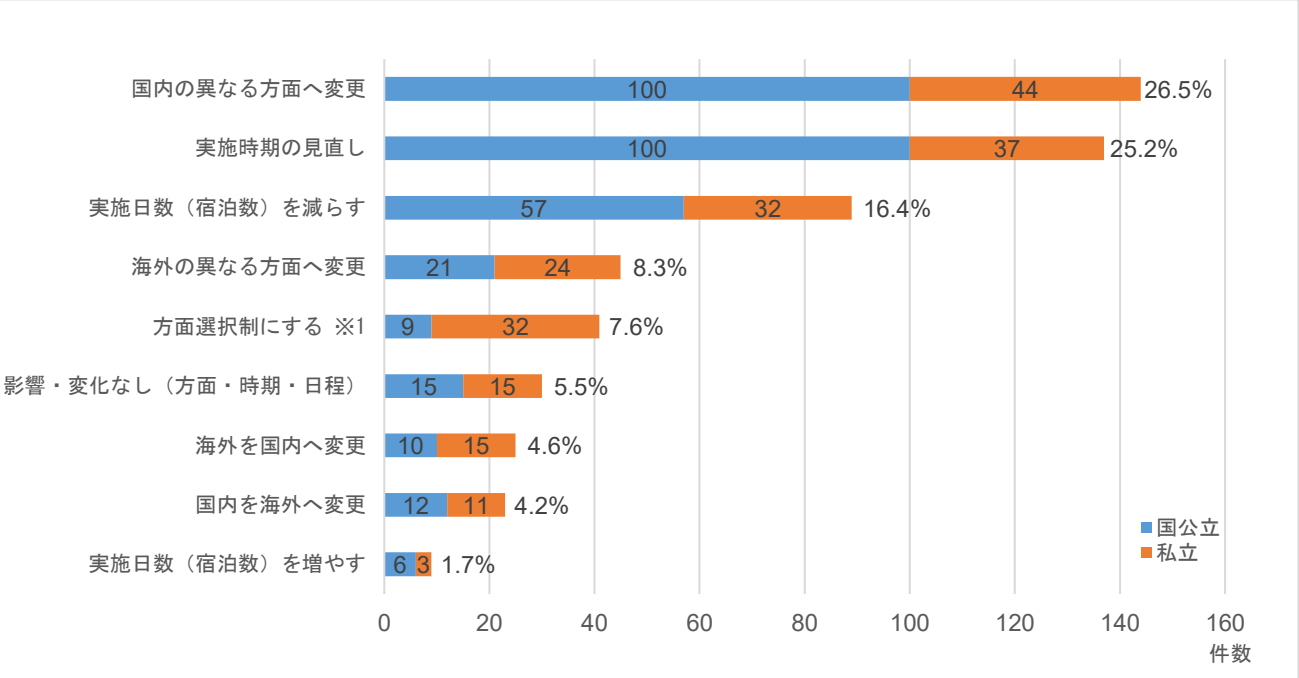
2 今後の影響・変化～実施方面・時期・日程（複数回答可）（%はこの項目内での回答比率）

［中学校］



※1（国内・海外、国内複数方面より選択等）

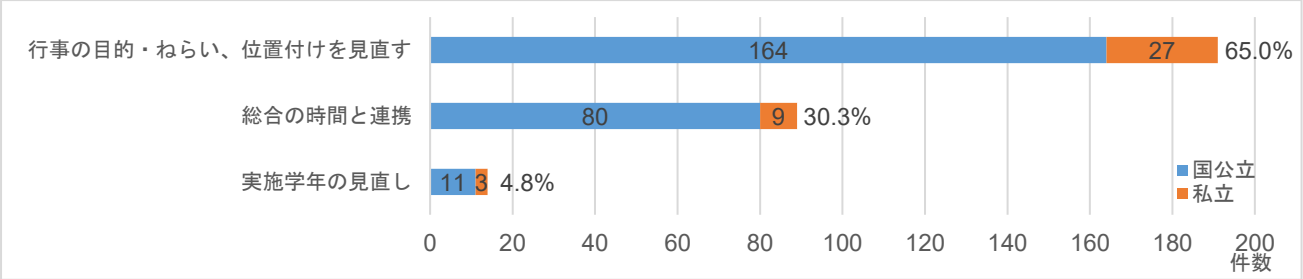
［高等学校］



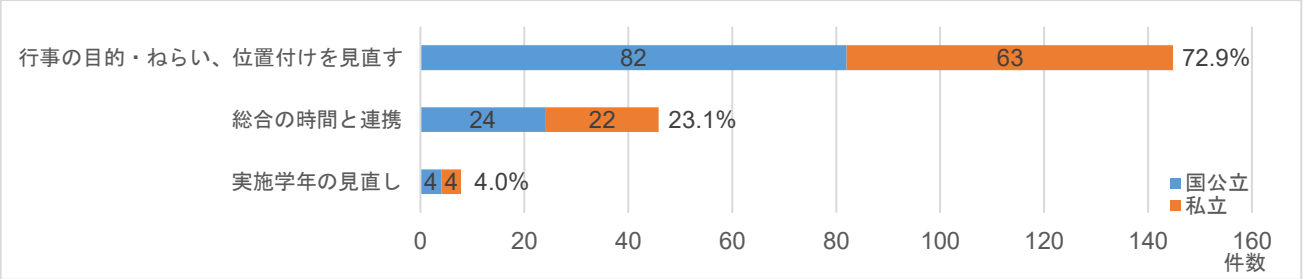
※1（国内・海外、国内複数方面より選択等）

3　今後の影響・変化～修学旅行のあり方（複数回答可）（%はこの項目内での回答比率）

［中学校］

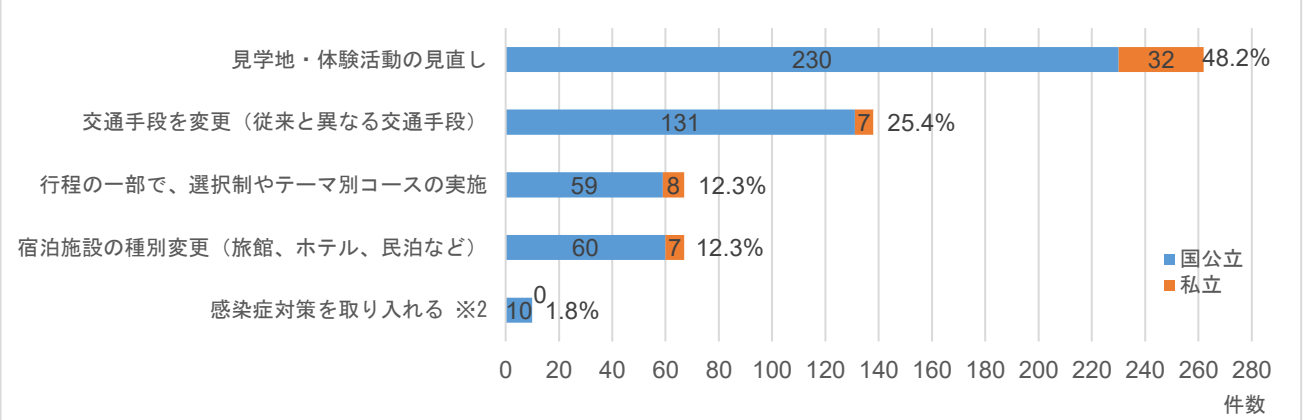


［高等学校］



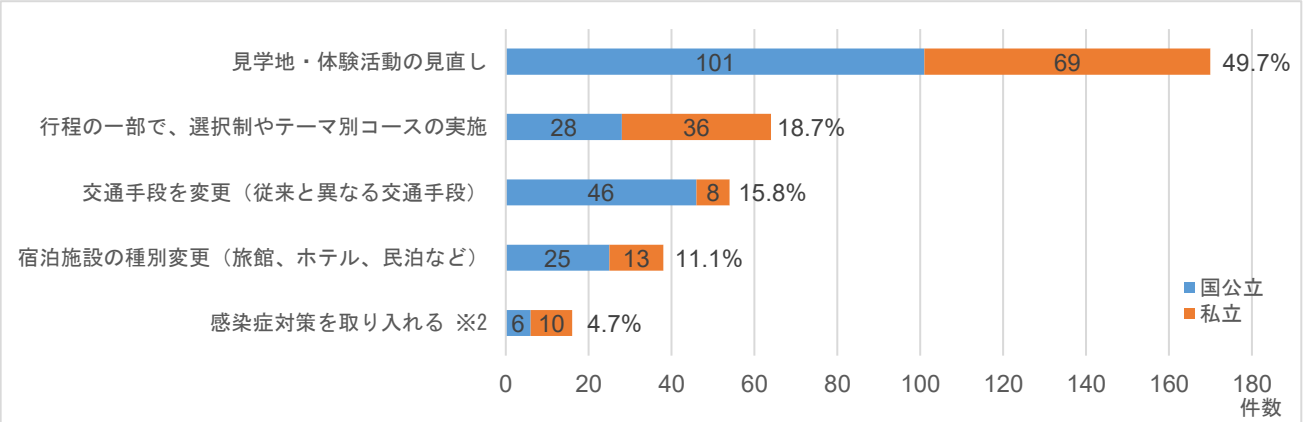
4　今後の影響・変化～実施方法（複数回答可）（%はこの項目内での回答比率）

［中学校］



※2　（部屋数・保健室の増加、保険の加入等）

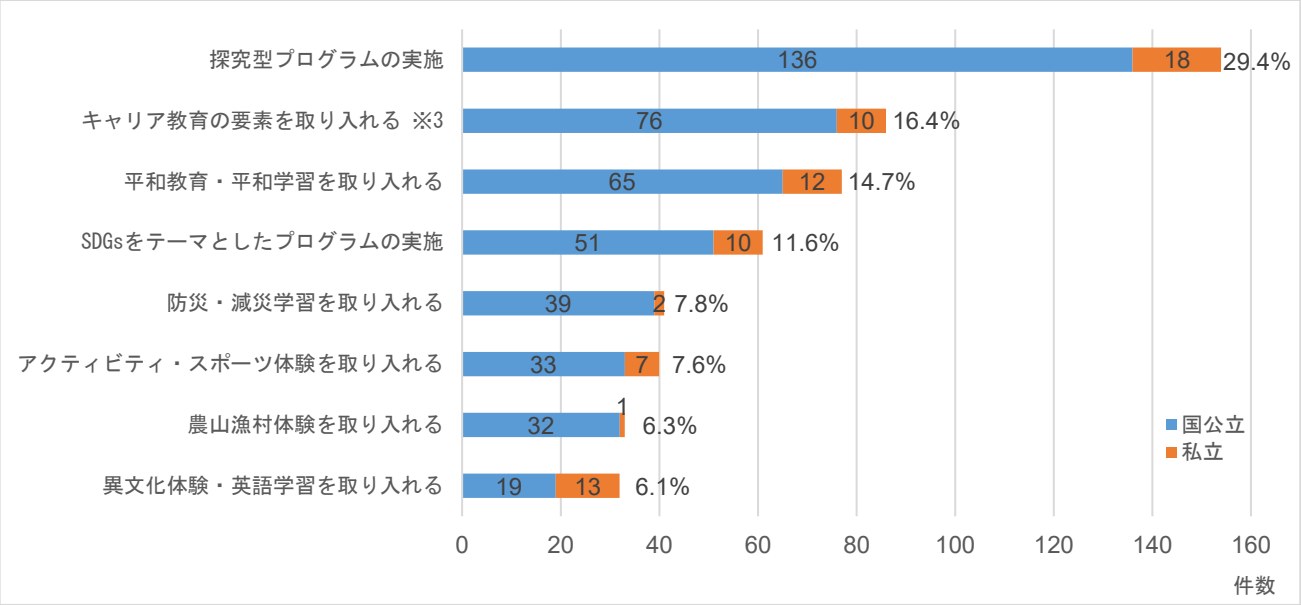
［高等学校］



※2　（部屋数・保健室の増加、保険の加入等）

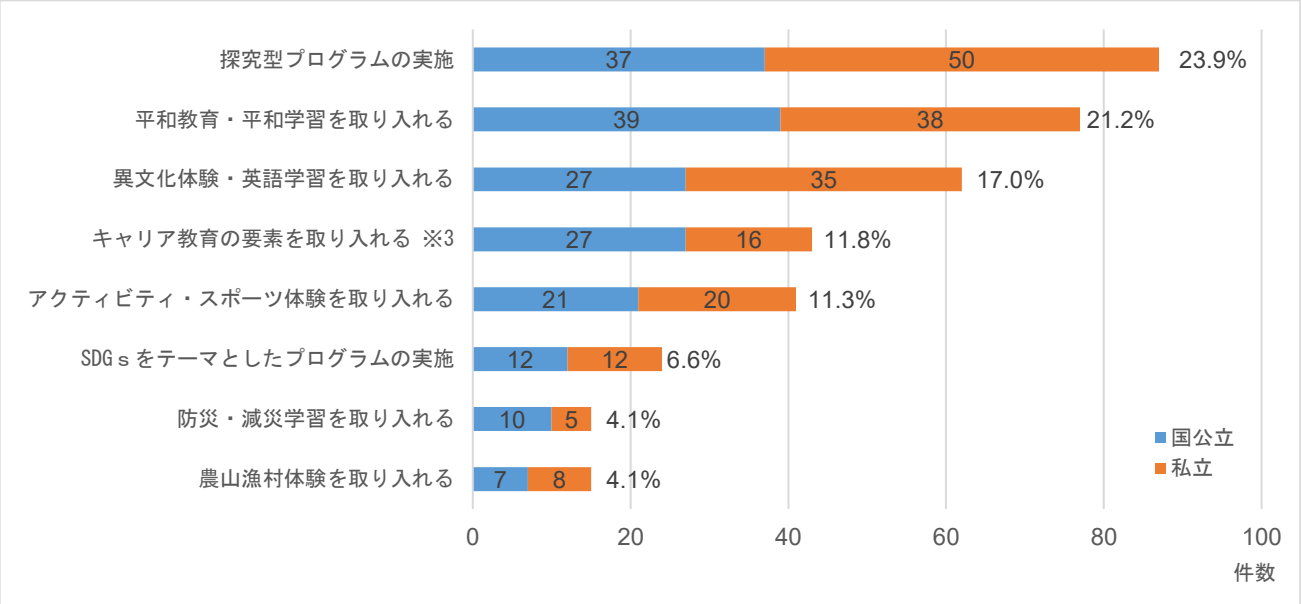
５ 今後の影響・変化～体験内容（複数回答可）（%はこの項目内での回答比率）

［中学校］



※3　（企業訪問・見学含む）

［高等学校］



※3　（企業訪問・見学含む）